

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

#### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	文学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

#### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

##### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 文学部の理念と目的を共有化し、適切性を点検・検討するため全教員による会を定期的に開催する。	→会の開催実績と記録	B	B	B	B	A
2. アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを含め、文学部の理念と目的について、教員・学生への周知徹底を図る。	→学生による授業評価アンケート等における認知度調査	B	B	B	B	B
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

##### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教員全員の参加を前提とするファカルティ・ディベロップメント(FD)研修会を毎年度2回開催し、文学部の理念・目的を確認している。2013年度は、第1回目「若者の人権と美容被害」(2013年12月)について、第2回目(2014年3月)「文学部学生の進路・就職活動」についてFD研修会を開催した。文学部定例教授会(2013年度15回開催)および学部委員会(同4回開催)では文学部の理念・目的に照らし、すべての案件を検討した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 教授会の協議事項には人事、カリキュラムの改正、入試判定など、文学部の理念と目標が確かであることを問われる重要事項が含まれるが、全ての教授会を滞りなく実施した。FD研修会は文学部の理念・目的の適切性を基に学生の人権と健康について、さらに卒業後の社会人としての多様な進路を検討するうえで有効であった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も全教員の出席を求める教授会を土台に文学部の理念と目標に叶った学部運営を継続する。FD研修会では多様な課題を取扱い、文学部の理念・目的を全教員に周知させる。	☆
		その他	☆

目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 明文化された文学部のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは、関西学院大学文学部ウェブサイト周知させた。さらに、『文学部ガイド』を全教員に配布した。『文学部読本』に文学部のアドミッションポリシーに基づく3学科の教育研究活動を記載し、教員・学生に配布した。新入生ガイダンスでは、学部長挨拶において、文学部の理念・目的を周知させた。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か オープンキャンパスを含め、あらゆる機会を利用して文学部の理念・目的に照らした企画を実行した。しかし、学生の認知度調査は2013年度も行っていない。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 上記の周知方法を継続する。また、学生に対する理念・目的の認知度調査をウェブ上で行うことを積極的に検討する。	☆
		その他	☆
備考			☆